

津軽広域連合だより

tsugarukoikirengo

DAYORI

平成23年7月

Vol.35

春の岩木山八景

名人・達人バンク講師派遣事業
ふるさと探訪バスツアー参加者募集

地域資源特派員レポート

弘前公園で桜が咲く頃、まだ雪が残る岩木山湯段地区の常盤野農村公園では、鮮やかな緑と純白のコントラストが見事なミズバショウが一面に咲き誇っていました。美しい眺めと雪解け水の清らかな音とのコラボは癒し効果満点です。(特派員No.127のりきよ/大鰐町)

議会の動き

7月4日に弘前地区環境整備センターで**平成23年第1回津軽広域連合議会臨時会**が開催され、議長選挙において村上隆昭議員（黒石市）が投票により選出されたほか、議会運営委員[定数6名]に三上惇議員（弘前市）、柳田誠逸議員（弘前市）、福土幸雄議員（黒石市）、並びに議会選出の監査委員に佐藤哲議員（弘前市）が選任されました。また、職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正条例を3月に専決処

分した件について報告し承認を受けたほか、議員派遣の件について原案どおり可決されました。

なお、同日開催された第3回議会運営委員会では、同委員長に柳田誠逸議員が選任されています。

津軽広域連合議会議員は関係市町村の議会議員の中から選ばれており、定数は16名で、内訳は弘前市7名、黒石市2名、平川市2名、町村各1名となっています。任期は各市町村議会の議員としての任期となります。

各議員の顔写真については次号に掲載する予定です。

今年のふるさと探訪バスツアーは8月28日(日)です!



津軽の魅力再発見を目的に、今年もふるさと探訪バスツアーを実施します。ツアーの各訪問先でガイドから詳しい説明を受けることで、この津軽地域についてより一層理解を深めることができますので、ぜひこの機会にご参加ください。たくさんのご応募をお待ちしております。

●開催日 平成23年8月28日(日)

●集合 8時45分 弘前市役所駐車場集合

●時間 9時出発 16時頃終了予定

●対象者 弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村在住の方

●募集人数 各コース40名 計80名

●参加費 1名につき500円 ※昼食は各自で用意

●応募方法 ハガキに参加希望の

コース、住所、氏名、年齢、電話番号を明記

(1枚のはがきで2名まで応募可 ※2名で応募の場合は代表者の名前に○をつけてください。)

●応募締切 平成23年8月10日(水) 必着

※応募者多数の場合は抽選としますが、初参加の方を優先します。

※抽選結果は、応募者全員に後日通知します。

●申込み・問い合わせ先

〒036-8276 弘前市大字樋の口町260番地4
津軽広域連合「ふるさと探訪バスツアー」係
(電話 7/29まで39-7200 8/1から82-1201)

Aコース



白神山地
ビジターセンター
(西目屋村)



瑞楽園
(弘前市)



ふるさとセンター
(板柳町)



常盤ふるさと
資料館あすか
(藤崎町)



革秀寺
(弘前市)

Bコース



中世陶芸の郷
津軽烏城焼
(黒石市)



埋蔵文化財
センター・博物館
(田舎館村)



道の駅いかりがせき
津軽関の庄
(平川市)



古懸山不動院国上寺
(平川市)



茶臼山公園
俳句の小径
(大鰐町)

事務室移転のお知らせ

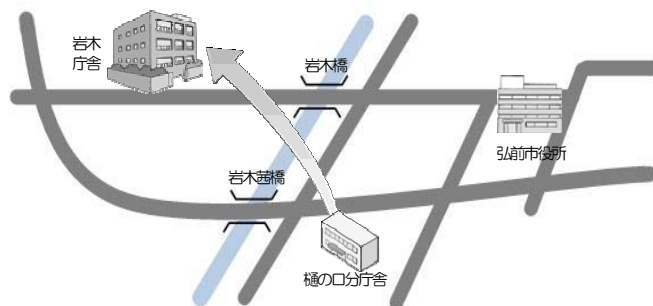
8月1日(月)より津軽広域連合事務室は下記に移転します。

〒036-1393

弘前市大字賀田1丁目1-1 弘前市役所岩木庁舎2階

電話 82-1201 F A X 82-2201

※バスツアー応募のあて先は、新旧住所いずれも可



介護・障害 審査会委員へ辞令を交付しました



4月9日（土）ホテルニューキャッスルにおいて、平成23年度津軽広域連合介護認定審査会及び障害程度区分判定審査会の辞令交付式を開催し、鳴海広道副広域連合長（黒石市長）より、介護認定審査会委員150名を代表して柴田麻里委員に、障害程度区分判定審査会委員20名を代表して小林雅也委員（写真）にそれぞれ辞令が手渡

されました。委員の任期は平成25年3月31日までの2年間です。

また、引き続き行われた各審査会全体会（組織会）では、介護認定審査会会長に田村瑞穂氏が再任され、障害程度区分判定審査会会長には成田俊介氏が選任されています。

津軽広域連合では、要介護認定審査及び障害程度区分判定審査を委員5名からなる審査分会によって、1年を通じ月曜日から木曜日までの主に夜間に実施しています。今年度中の審査分会開催予定回数は、介護505回、障害32回です。

○介護認定審査会委員の構成

分野	資格等	人数
医療	医師	46名
	精神科医	7名
	歯科医師	7名
	薬剤師	7名
保健	看護師・保健師	8名
	老人保健施設関係者	14名
	作業療法士	7名
	理学療法士	7名
福祉	柔道整復師	3名
	老人福祉施設関係者	12名
	在宅介護支援センター関係者	7名
	社会福祉士	12名
	介護福祉士	7名
	精神保健福祉士	6名
合計		150名

○障害程度区分判定審査会委員の構成

分野	資格等	人数
医療	医師	4名
	精神科医	2名
保健	理学療法士	2名
福祉	社会福祉士	8名
	精神保健福祉士	4名
合計		20名

ヨーガ教室 名人・達人バンク講師派遣事業

弘前市高杉のグループホームアップルにおいて5月9日（月）、バンク登録者の石戸谷正子さん（写真右から2人目）を講師に迎えて『ヨーガ教室』が行われました。これは、入居者の転倒防止と認知症の進行緩和を目的として実施されたもので、70歳代から90歳代までの入居者と同施設職員の計11名が参加しました。

今回のヨーガ教室は高齢者対象ということで、大きく強い動作ではなく、椅子に座ったままで呼吸を整えながらゆっくり少しずつ体を動かして脳の働きを良くするというものでした。長く声を出しながら息をはいたり、また、認知症に効果があるとされる舌の運動をし、最後にはみんなで手をつなぎながら“笑いヨガ”で楽しく終了となりました。

参加者は「体がほかほか温まった」「すっきりした」と穏やかな笑顔を浮かべていました。

圏域内の学校、児童施設、福祉施設等で行われる授業や活動等で同バンク登録者を利用される際、講師依頼にかかる謝礼・交通費を津軽広域連合が補助します。利用を希望する施設はお早めにお申し込みください！



津軽広域連合の財政状況 （平成23年3月末日現在）

○財産の現在高

【基金】	
津軽広域活動推進基金	960,578 千円
財政調整基金（総務分）	10,458 千円
財政調整基金（介護分）	5,598 千円
財政調整基金（障害分）	3,720 千円
計	980,354 千円
【物品】	
自動車	1 台
介護認定オンラインシステム	1 式
公共施設予約システム	1 式
○地方債の現在高	0 千円
○一時借入金の現在高	0 千円

○平成23年度歳入歳出予算（千円、％）

	科 目	予算額	構成比	
歳入	分担金及び負担金	153,853	87.5	
	財産収入	5,225	3.0	
	繰入金	16,663	9.5	
	諸収入	50	0.0	
	計	175,791	100.0	
歳出	目的別	議会費	3,556	2.0
		総務費	51,465	29.3
		民生費	115,029	65.4
		基金積立金	5,225	3.0
		公債費	66	0.0
		予備費	450	0.3
		計	175,791	100.0
	性質別	人件費	155,266	88.3
		物件費	12,998	7.4
		補助費等	1,786	1.0
		公債費	66	0.0
		積立金	5,225	3.0
		その他	450	0.3
		計	175,791	100.0

○平成22年度歳入歳出予算執行状況（千円、％）

		科 目	予算現額	執行済額	執行率
歳入		分担金及び負担金	154,206	154,206	100.0
		財産収入	7,119	7,118	100.0
		繰入金	16,505	16,505	100.0
		諸収入	343	424	123.6
		国庫支出金	1,739	1,739	100.0
		計	179,912	179,992	100.0
歳出	目的別	議会費	1,454	564	38.8
		総務費	54,638	51,082	93.5
		民生費	114,446	105,195	91.9
		基金積立金	8,858	8,858	100.0
		公債費	66	0	0.0
		予備費	450	0	0.0
		計	179,912	165,699	92.1
	性質別	人件費	153,472	145,142	94.6
		物件費	12,750	8,874	69.6
		補助費等	4,316	2,825	65.5
		公債費	66	0	0.0
		積立金	8,858	8,858	100.0
		その他	450	0	0.0
		計	179,912	165,699	92.1



1 西目屋村―白沢地区

この角度からは、岩木山の左側にかわいい子供のような小山（黒森？）を見ることが出来ます。



8 板柳町―津軽りんご大橋

山頂は左側に寄って鋭く尖がつており、山肌も少しところとして、全体的に力強い感じのフォルムです。



2 弘前市―新法師地区

津軽の原風景であるりんご畑越しの岩木山という普遍的な構図に、松林の純日本的な要素をプラス。



7 藤崎町―白鳥ふれあい広場

アングルの的にはここがベストという声も。冬には岩木山をバックに川面に多くの白鳥が浮かびます。

春の岩木山八景

わが津軽地域のシンボルである岩木山は、津軽広域連合を構成する8市町村すべてからその姿を眺めることができ、角度によってさまざまな表情を見せてくれます。各市町村の厳選スポットから撮影した、まだ雪を頂く春の岩木山を紹介します。



3 大鰐町―茶臼山公園

落ち着いた町の姿、左右に曲流する平川のライン、尾開山の稜線、そして遠くに望む岩木山。まさに格別の絵画的風景。



6 田舎館村―役場庁舎

オーソックスでシメトリックな安定美。夏以降は東に田んぼアート、西に岩木山と、天守閣から二つの眺めが楽しめます。



4 平川市―広船地区 志賀坊森林公園

近くの菜の花畑の上に岩木山を見つけました。校舎の姿がのどかさを増してくれます。



5 黒石市―黒森山山頂付近

深緑の樹海の向こうに広がる津軽平野とその奥にそびえる岩木山。雄大かつ荘厳な圧倒的景観となっています。

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、要介護認定審査・障害程度区分判定審査ほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。

(問い合わせ) 0172-39-7200
〒036-8276
青森県弘前市大字樋の口町 260 番地 4
詳しくは web で [津軽広域連合](#) [検索](#)